

～ H.B.G. H.B.C. を経て H.B.A. に至る ～

昭和 37 年(1962)9 月

HBG(ホテル・バーメンズ・ギルド)として発足

東京都内 9 ホテルの飲料責任者が会合を持ち、情報の交換とお互いの親睦を深める目的で、ホテル飲料関係者の横のつながりによる組織の発足を決定し、名称を“HBG(ホテル・バーメンズ・ギルド)”としました。この時の 9 ホテルは、パレスホテル、ホテルオークラ、帝国ホテル、ホテルニュージャパン、銀座東急ホテル、丸の内ホテル、第一ホテル、ホテル国際観光、銀座日航ホテルで、都内ホテルのチーフ・バーテンダーに呼びかけ、本格的な組織化が始まりました。その後、何回かの会合を続けるうちに、ウイスキーやワイン工場見学会が提案され、知識向上に役立つため、京都や仙台の工場施設見学会を行うようになりました。

昭和 45 年(1970)

HBC(ホテル・バーメンズ・クラブ)へと発展

この頃、内外から若い子弟達の啓蒙、育成を求める声があがり、広くバーテンダーに呼びかけ、HBG を大きく発展させる事が必要になってきました。そこで、秩序ある組織運営の必要性から、会則を持ち、会員資格の厳正な組織への発展を志したのです。その結果、この呼びかけに対し、東京都内 18 社のホテルが呼応し、80 名の組織へと発展したので、名称も“HBC(ホテル・バーメンズ・クラブ)”に改めました。HBC は、その基本理念として、業界人として常に人格の陶冶を図り、親睦を深め、知識及び技術の向上に励み、業界の発展に寄与する事を目的に活動を定めました。事業としては、カクテル・コンペティションを始め、研修、講座、施設見学、親睦会及び相互扶助などを盛り込みました。

昭和 47 年(1972)7 月

HBC 発会総会と第 1 回カクテル・コンペティション (第 1 回 HBC カクテル調合技術コンクール)

昭和 47 年 7 月、ホテルグランドパレスで行われた HBC 発会総会にて、会則に則り事業の展開が発表されましたが、最大の事業として謳われたカクテル・コンペティションの開催についての了承を得ました。第 1 回カクテル・コンペティションは、「第 1 回 HBC カクテル調合技術コンクール」という名称で、この HBC 発会総会の直後に開催されることになったのです。この時の運営規則、審査方法が現在の HBA 創作カクテルコンペティション運営規則の原型です。

第 1 回 優勝者:吉田 貢(パレスホテル)

昭和 48 年(1973)2 月

第 2 回 HBC カクテルコンペティション(創作)

第 1 回 HBC カクテル調合技術コンクールの成功で、カクテル・コンペティションの開催には弾みがつき、第 2 回カクテル・コンペティションは、その翌年 2 月にパレスホテルで行われることに決定しました。この時、持ち回りの優勝杯が作られることになり、これが現在では歴代優勝者の名前が刻まれ、別添の紅白リボンを結びつけた、歴史を物語る由緒ある優勝カップとなっています。また、この第 2 回大会から創作カクテル・コンペティションとなり、この形式は現在でも続けられています。

第 2 回 優勝者:若松 誠志(ホテルオークラ) カクテル名:バカディアーン

昭和 50 年(1975)10 月 支部の誕生-HBC 北海道支部の結成

昭和 47 年(1972)に発会した HBC の活動は、カクテル・コンペティションを始め、ウイスキー・ディスタリリーやワイナリーなどの施設見学、ゼミナールの開催、情報交換と親睦を目的とした会合を行い、職能知識・技術の向上を図ると共に親睦の和を広げました。その中で HBC の全国組織化は、北海道と九州地区をどんな形でまとめるかが一つの課題でした。幸いにも、北海道では札幌東急ホテルが中心となってまとまる機運がありました。東京と同一歩調での活動は難しいものの、HBC の活動への参加の意欲は強く、北海道支部という形で発足させることに理事会で決定され、全国組織化へ、また一步の前進を見たのです。支部結成の運動は北海道地区ホテルの熱意もあり、急速に進展し、昭和 50 年(1975)10 月 7 日に、札幌グランドホテル、札幌パークホテル、札幌プリンスホテル、札幌全日空ホテル、札幌国際ホテル、札幌東急ホテル、ホテルワシントン札幌の 7 ホテル、37 名の HBC 北海道支部が誕生しました。

昭和 51 年(1976)5 月 九州地区ホテルグループ-北海道に続け

昭和 50 年(1975)7 月の北海道支部結成のニュースは、地方都市ホテルの会員を大きく刺激しました。特に九州地区では、ホテルステーションプラザ、博多東急ホテル、西鉄グランドホテルが中心となり、HBC 入会運動の灯がともりました。HBC 理事会での検討の結果、現地懇談会が開かれることになり、昭和 51 年(1976)5 月、九州地区ホテルグループの形で入会を図ることになりました。その結果、西鉄グランドホテル、ホテルステーションプラザ、博多東急ホテル、博多都ホテル、博多全日空ホテル、城山ホテル、福岡第一ホテル、長崎グランドホテル、小倉ホテルの 9 社の加盟が決定しました。この時点で、HBC の加盟ホテルは、69 社、会員数は 250 名を数えることになり、HBC の全国組織化が一応完成したのです。

昭和 52 年(1977)7 月 全国組織、HBA の誕生

昭和 51 年(1976)5 月の九州地区ホテルグループの参加により、全国組織としての形が一応出来上がった HBC では、その翌年、昭和 52 年(1977)の総会を記念すべき博多の地で行う事にしました。昭和 52 年(1977)7 月 2 日、この記念すべき総会は、事業、会計報告承認を経て、全国組織化の完成による名称変更へと進み、ここに「HBA(全国ホテルバーメンズ協会)」の誕生と相成りました。現在は、HBA(日本ホテルバーメンズ協会)という名称になってはいますが、HBA の愛称はここで誕生したのです。

昭和 53 年(1978)2 月 創作カクテルコンペティション-関西で初開催

HBA(全国ホテルバーメンズ協会)の最大事業(催事)は創作カクテルコンペティションであり、この事業(催事)を通じて HBA はそのプレステージと存在価値を高めてきました。第 6 回大会までを全て東京で開催してきたのですが、前年の昭和 52 年(1977)に全国組織化の完成により、名称も HBA と変更して、更なる発展を目指しての活動の一環として、この最大催事(事業)も全国組織の名にふさわしく、東京以外の地で行うこととしました。それが、第 7 回 HBA 創作カクテルコンペティション大阪大会です。

- 昭和 55 年(1980)
創作カクテルコンペティション-優勝者も全国化

昭和 53 年(1978)第 7 回大会が初めて東京以外の地、関西(大阪)で開催された創作カクテル・コンペティションも、昭和 54 年(1979)の第 8 回大会までの優勝者は全て東京都内のホテルの選手に独占されていました。しかし、昭和 55 年(1980)の第 9 回大会では、札幌全日空ホテル、そして昭和 56 年(1981)の第 10 回大会は京都ロイヤルホテルの選手が優勝の栄誉に輝きました。全国組織化が昭和 52 年(1977)の九州地区で開催された総会で HBA への名称変更と共に名乗りを上げ、昭和 53 年(1978)の創作カクテルコンペティション大阪大会で、実質的な第一歩を踏み出し、その優勝の栄誉が東京以外のホテル・バーテンダーによって勝ち取られることで、真の全国組織となり、ここに地方格差というものが無くなる時代の到来を示したのです。

- 昭和 62 年(1987)1 月
HBA 機関紙「The Hotel Barmen vol.1 発行

隔月発行(年間 6 回)を目標に会員情報誌としてスタート。平成 28 年 3 月で vol.170 号の発行となる。

- 昭和 62 年(1987)11 月
海外研修-HBA Study Tour 開催

昭和 62 年(1987)に HBA は創立 10 周年を迎えることになりました。全国組織化の完成から 8 年、地方格差が無くなり真の日本全国を統括する組織となった HBA にとっての次の課題は国際化への対応であり、この課題への取り組みとして、海外研修ツアーを行いました。HBA へのサプライヤーでもある賛助会員の方々の協力を得て、イギリス、フランスの 2 カ国への第 1 回海外研修、HBA Study Tour の実現に踏み切りました。
この海外研修は、その後も継続され、HBA の国際化対応時代の幕開けとなったのです。

- 昭和 63 年(1988)2 月
第 1 回 HBA 級別認定試験の実施

全国 7 会場(北海道、東北、東海、京都、阪神、九州、本部(東京))に於いて、ジュニアバーテンダー、シニアバーテンダー、マスターバーテンダー、各クラス別認定試験を実施。(受験者数 318 名、合格者人数 236 名)

- 平成元年(1989)9 月 1 日
社団法人 日本ホテルバーメンズ協会(HBA)誕生

平成元年(1989)は HBA の歴史の中で最も意義のある年になりました。HBA が全国組織としての基盤を固め、活動を始めてから 12 年を経て、その活動意義が認められ、平成元年(1989)9 月 1 日に当時の運輸省認可運政第 546 号を以て、公益社団法人の認可を受けたのです。社会への公益に貢献するという社会的責任を担い、より広く一般社会に開かれた組織として、大きな活動の新たな幕開けを迎えました。

平成 20 年(2008)

第 1 回 HBA カクテルアドバイザー講習会&認定試験実施

HBA が初めて一般(非会員)を対象とするカクテル専門知識取得者として認定するための講習会と資格認定試験を全国 12 支部において実施。
以降、翌年の第 2 回までは、講習会&認定試験にて実施。

平成 23 年(2011)

HBA カクテルアドバイザー認定を通信講座へ完全移行

受験者に集まっていた苦勞を排除するために、通信講座へと形を変えて継続。
年間 4 期に受講期間を分け、3 か月で教本、DVD を基に知識を高め、添削問題を提出し、その後、認定試験問題を提出し合否を決める方式へ進化し、継続している。

平成 23 年(2011)5 月 13 日

バーテンダー4 団体による、「5 月 13 日はカクテルの日」制定

アメリカで初めて『カクテル』が紹介された 5 月 13 日を日本国内における「カクテルの日」と制定し、同年 5 月 13 日に歴上初めてといえる、4 団体による合同の発表会とカクテルパーティーが、都内ホテルにて開催された。

平成 24 年(2012)

第 1 回カクテルアドバイザー・カクテルコンクールを開催

国際ホテル・レストランショーのイベントステージにおいて、アマチュアのカクテルコンクールを実施。HBA が認定するカクテルアドバイザーから参加者を募集し、約 300 人のお客様の前で、カクテルを成作。6 名のカクテルアドバイザーが出場。

平成 24 年(2012)

平成 24 年度秋の黄綬褒章受章

当時の会長を務めていた、渡邊一也氏が、バーテンダーとして初めて、黄綬褒章受章の榮譽に輝く。

平成 25 年(2013)4 月 1 日

一般社団法人日本ホテルバーメンズ協会(HBA)へ移行

平成 25 年 3 月 21 日にて内閣府より「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」に基づく「一般社団法人」への移行が認可され、平成 25 年 4 月 1 日(移行登記日)より一般社団法人へ移行。

- 平成 25 年(2013)6 月 28 日
初代 HBA 大使に、片岡孝太郎氏を任命

HBA として初めて、バーの素晴らしさと、カクテルの楽しさを広めていただく為に、歌舞伎俳優として、そして映画・TV と幅広くご活躍中の、片岡孝太郎氏を初代 HBA 大使として平成 25 年度通常総会時に任命。HBA が開催するカクテルコンペティションやイベントに参加いただき広報活動にご協力いただいている。

- 平成 26 年(2014)6 月 27 日
第 7 代会長 小森谷弘の任命

平成 26 年 6 月 27 日通常総会において、ホテルニューオータニの小森谷弘氏が、第 7 代会長に就任。

- 平成 26 年(2014)7 月 13 日
第 29 回 HBA/CLASSIC 創作カクテルコンペティション・チャンピオンシップ大阪大会

HBA 創作カクテルコンペティションを、5 大都市開催とすることになり、昭和 53 年(1978) 第 7 回大会以来の大阪大会が開催され、東海支部より初めての創作カクテルコンペティションチャンピオンが生まれた。

第 29 回 グランプリ(観光庁長官表彰) 福手進介(名古屋マリオットアソシアホテル)

- 平成 27 年 6 月 26 日
平成 27 年度通常総会懇親会にて、大泉洋氏を HBA 名誉会員に任命。
(大泉洋氏 略歴)

赤坂・山王ホテルにてバーテンダーをスタートし、昭和 39 年の開業時にホテルニューオータニへ移られ、長年ご勤務され、数多くの優秀なバーテンダーを育成

- 平成 28 年(2016)6 月 26 日
平成 28 年度通常総会が、北海道札幌市内にて開催される。(札幌プリンスホテル)

- 平成 28 年(2016)6 月 26 日
HBA 大使に、新たに脚本家の倉本聰氏を任命

創作カクテルコンペティションが 30 回の記念大会を北の大地、北海道にて初開催されることで、北海道で最も著名で、ご自身のオリジナルカクテルもお持ちで、ホテルバーをこよなく愛してくださっている事の感謝の意を表すものとして任命。

オリジナルカクテル: ラスティ ペン(錆びたペン)

- 平成 28 年(2016)6 月 25 日、26 日
第 30 回 HBA/CLASSIC 創作カクテルコンペティション・チャンピオンシップ札幌大会

前大会(大阪)より、5 大都市開催となった、HBA 創作カクテルコンペティションが、札幌プリンスホテル 国際館パミールにて開催された。

第 30 回 グランプリ(観光庁長官表彰) 吉田宏樹(ホテルニューオータニ)

- ✚ 平成 29 年(2017)6 月 26 日
一般社団法人日本ホテルバーメンズ協会 定款の一部変更議案承認

平成 29 年度通常総会に於いて、正会員と特別会員の会員区分を廃止として、正会員として統一し、総会での議決権並びに、HBA/CLASSIC 創作カクテルコンペティションへの出場権も旧特別会員に与えられることが決定した。